

新年のごあいさつ



酒田市長
丸山 至

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては平成28年の新春をつつがなくお迎えのこととお喜び申し上げます。

市長に就任後、本市にとっていくつかの大きな出来事がありました。昨年10月31日と11月1日に全国ねぎサミットが開催され、全国各地から大勢の方をお迎えしました。同サミットは大成功となり、全国規模のイベントがもたらす効果の大切さを実感したところです。11月6日には、合併10周年記念式典が挙行され、新市となって10年の大きな節目を祝いました。この日「もしえのん」と「あののん」が晴れて酒田市公認キャラクターとなりました。スポーツ関係でも明るい話題が続きました。プレステージ・インターナショナルの女子バレーチーム「アランマール」がV・チャレンジリーグ・IIに参戦するとともに、県女子駅伝競争大会では酒田飽海チームが2年ぶりの優勝を果たしました。過去最高を更新し続ける国際定期コンテナ航路は、週7便となり利便性が飛躍的に向上するとともに、有効求人倍率においても県内を牽引し続けています。



2016 謹賀新年

本年は、この良い流れ、好機を最大限に活かす、市長就任に当たって申し上げたことを確実に実行する年にしていきます。本市主要プロジェクトである山形新幹線庄内延伸、酒田駅周辺整備のほか観光戦略や鳥海山・飛島ジオパーク構想の推進などについて、市民の皆様目に見える形でしっかりと前進させます。また昨年10月末に策定した「酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に従い、国際港湾酒田港、質の高い医療環境、充実した高等教育機関、おいしい食べ物、豊かな自然など本市の特色を最大限磨き上げながら施策を実行し数値目標の早期達成に向け積極的に取り組んでいきます。

加えて、産業力を高めるための地元企業への支援措置や企業立地の促進、もうかる農業への基盤づくりなど、さまざまな働き掛けを強めるとともに、国内外の友好都市などとの交流や本市の特色ある文化の発信にも力を入れていく所存です。

また本市の力である産業都市、交流都市としての活力を再生するために、全ての市民がまちづくりに関心を持ち、政策形成に参画し行動することが必要です。そのため、市民の皆様からの提言を受け市の施策に反映していく新たな仕組みを構築します。そして若者、女性、子育て世代、産業人など、さまざまな方々と意見交換することにより、市民の思いを施策に反映しやすい環境を整え、経験豊かな世代の知恵とエネルギーを若者のパワーを結び付けることにより諸事業を展開していきます。市民の皆様から積極的に参画いただくようお願いいたします。

さて9月11日には、いよいよ天皇后陛下の御臨席が恒例となっている「全国豊かな海づくり大会―やまがた―」式典行事が、希望ホールを会場に開催されます。本市を全国にPRする絶好の機会でもあり、全国各地からおおいでになる方々を、市民、関係機関、行政が一丸となってお迎えし、本市を再び訪れたいと思ってもらえるような大会にしたいと考えています。

本年が、市民の皆様にとって、夢と希望に満ち溢れた年となるよう祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

